

『MG2』ストーリー「ザンジバーランド騒乱」

ザンジバーランドへの単独潜入



1990年代後半、小国「ザンジバーランド」に軍事政権が樹立。核武装を遂げ、さらに、石油を精製する微生物「OILIX」を開発したマルフ博士を拉致する。特殊部隊FOXHOUNDの司令官ロイ・キャンベルは、退役していたソリッド・スネークを呼び戻し、マルフ博士の奪還を依頼した。ザンジバーランドに潜入したスネークは、マルフ博士の発信機の反応を探す。今回の任務ではキャンベルや、サバイバル教官のミラー、先に潜入していたホーリーらが無線でスネークをサポート。そうしてマルフ博士に接触するも、それは兵士「ブラック・ニンジャ」の変装だった。さらにその正体はアウターヘブンのレジスタンスだったシュナイダーだと判明する。彼の遺した情報を辿り、マッドナー博士と連絡をとることに成功するスネーク。マルフ博士はタワービルに移されたとは話し、さらに、ザンジバーランドの軍事的指導者は「ビッグボス」であり、ここでもメタルギアの開発が行われていたことを明かす。

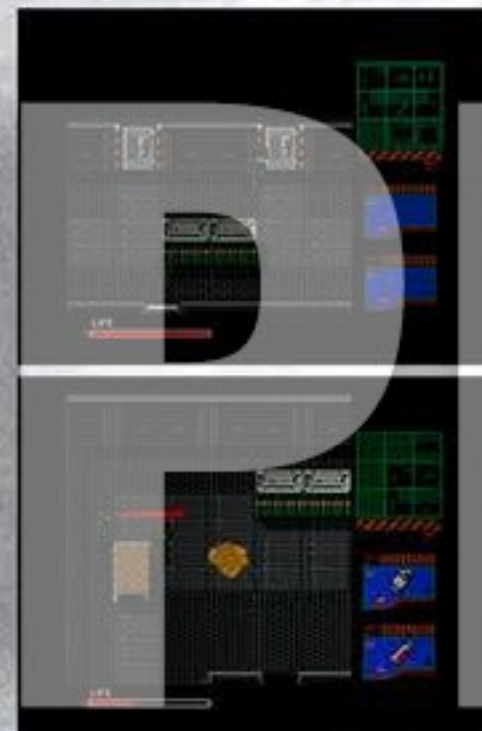
マッドナー博士の裏切り

タワービルを目指し、手強い兵士やハインドDを退けながら進むスネーク。途中で救出したホーリーの情報では、マルフ博士は伝書鳩を飛ばしていたという。スネークは伝書鳩を捕まえ、鳩が携えていたメモの無線周波数でマルフ博士と交信するが、言葉が通じない。そこでエージェントのグスタヴァと合流し、通訳してもらおう。ようやく言葉が通じ、マルフ博士は収容所にいることがわかる。スネークはグスタヴァと、遭遇したマッドナー博士とともに収容所へ向かうが、途中のクレバスに架かる橋が爆破され、グスタヴァが命を落としてしまう。攻撃したのはメタルギアに乗った元FOXHOUNDのグレイ・フォックスだった。彼はマッドナー博士を連れ去っていく。スネークはハングライダーを調達して、クレバスを越える。そしてようやくマルフ博士に直面するも、彼はベッドで息絶えていた。そばにいたマッドナー博士いわく、マルフ博士はOILIXの設計図を入れたゲームのカートリッジを、ロッカーに隠したまま病死したという。だが、ホーリーとの無線でマッドナー博士が二重スパイであることが判明。追い詰められたマッドナー博士は、マルフ博士を自らの手で始末したと数々の裏切り行為について暴露し、グスタヴァから預かったロッカーのカギを渡せと襲い掛かってくる。



メタルギア改Dを駆る グレイ・フォックスとの死闘

博士を制圧したスネークは、グスタヴァが死の間際に渡したブローチが形状記憶合金だと知り、冷凍庫で冷却して鍵の形に変える。それを使ってロッカーを開錠しカートリッジを回収するが、グレイ・フォックスの乗ったメタルギア改Dが立ちはだかる。弱点の脚部を攻撃し、メタルギアを破壊してもなおグレイ・フォックスは戦いを止めない。地雷が敷き詰められた部屋での拳と拳の戦いを望む彼にスネークも応える。死闘の末、グレイ・フォックスはスネークに敗れ、ビッグボスの側についた理由と自身の思いを語る。



伝説の英雄ビッグボスを越えて

グレイ・フォックスを倒したスネークは、その先の部屋で、ビッグボスと再会する。主義思想について相容れないふたりは、最後の戦いへ。先程の戦いで装備が焼けて丸腰のスネークは、周囲の部屋から材料をかき集め、即席の火炎放射器を作って応戦する。激戦を経て炎に包まれるビッグボスを見送ったスネークは、脱出地点へと走る。途中でホーリーとも合流し、ヘリでザンジバーランドを後にする。その後、回収したカートリッジが本物だと見届けたスネークは、静かにその場を去った。

戦場に生きるしかない兵士たち

ビッグボスは最後の戦いの前に、戦争を誘発する理由について、自身やグレイ・フォックスのような戦場を必要とする兵士たちのためであると語る。兵士たちのための居場所を作る、という思いは『MGS PW』のラストシーン、マザーベースの兵士たちへの演説の場面でも述べられており、その思いはこの頃から持ち始めていたことが分かる。なお、本作での敗北によって戦場から解放されたと思われたグレイ・フォックスであったが、その体は「愛国者達」に回収され、サイボーグ忍者として復活。再び戦場へ身を投じることになる。



◀ 『MGS PW』のラストの演説で、ビッグボスは自らの軍隊を“家”と呼んでいる。



▲ 『MGS』の舞台、シャドー・モセス島で再び戦うことになるグレイ・フォックスとスネーク。

『MG2』キャラクターファイル



CHARACTER FILE
02 ROY CAMPBELL

・ロイ・キャンベル

FOXHOUND作戦総司令官。ビッグボスなき後、部隊をハイテク特殊部隊へと生まれ変わらせた。精密で慎重な作戦を練る。



CHARACTER FILE
03 HOLLY WHITE

・ホリー・ホワイト

ジャーナリストで、数々の賞を受賞。モデルとしても活躍する。CIAの職員でもあり、ザンジバーランドには取材の形で潜入している。



CHARACTER FILE
04 MCDONNELL MILLER

・マクドネル・ミラー

FOXHOUNDのサバイバル教官。教え子からは鬼教官として恐れられるが、同時に敬意を込めて「マスター・ミラー」と呼ばれる。



CHARACTER FILE
01 SOLID SNAKE

・ソリッド・スネーク

「アウターヘブン蜂起」でメタルギア破壊に成功。ビッグボスを倒し、FOXHOUNDの名前を世界的に知らしめた。事件後FOXHOUNDを除隊し、カナダで療養生活を送っていたが、ザンジバーランド周辺の事態を重く見た政府とロイ・キャンベルにより、呼び戻される。



CHARACTER FILE
05 GEORGE KASLER

・ジョージ・ケスラー

戦争情報屋。世界各地の傭兵部隊に参加した経験を持ち、知らない傭兵はいないと言われる。短期間だがFOXHOUNDの兵器顧問も務めた。



CHARACTER FILE
06 JOHAN JACOBSEN

・ヨハン・ヤコブセン

動物学者で、国際動物保護官としても知られる。マッドナー博士とは大学時代の旧友。砂漠生息生物研究のため、ザンジバーランド付近を訪れる。



CHARACTER FILE
07 GUSTAVA HEFFNER

・グスタヴァ・ヘフナー

元プロフィギュアスケート選手。「氷の妖精」と呼ばれ、オリンピックでの優勝経験もある。亡命に失敗してからは、秘密工作員になる。



CHARACTER FILE
08 DRAGO PETROVICH MADNAR

・ドラゴ・ペトロヴィッチ・マッドナー

元東側のロボットロジエ専門家で、TX-55 メタルギアの開発者。西側に亡命している。



CHARACTER FILE
10 GRAY FOX

・グレイ・フォックス

元FOXHOUND隊員。ビッグボスの除隊後は、彼の後を追うように消息不明になった。



CHARACTER FILE
09 KIO MARV

・キオ・マルフ

石油を精製する微生物OILIXを完成させたチェコの科学者。ザンジバーランドに拉致される。



CHARACTER FILE
11 BIGBOSS

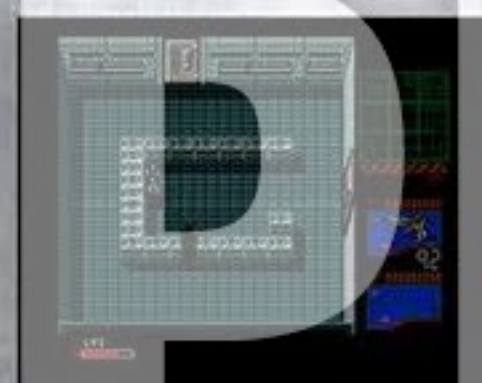
・ビッグボス

アウターヘブンを築き世界の軍事統制を目論んだがスネークに阻止され、中東に逃れる。

ザンジバーランドの兵士たち

CHARACTER FILE
12 BLACK NINJA

・ゾック・ニンジャ



フレックス・アーマーを装備したハイテク忍者。その正体は『MG』に登場したシュナイダー。

CHARACTER FILE
14 RED BLASTER

・レッド・ブラスター



グレネードの名手。大学で特殊工作を学んだ暗殺専門のエリート兵。

CHARACTER FILE
16 JUNGLE EVIL

・ジャングル・イービル



元偵察コマンド部隊出身。アンブッシュの専門家でゲリラ戦を得意とする「姿なき暗殺者」。

CHARACTER FILE
13 RUNNING MAN

・ランニングマン



爆破技術に精通し、足の速さを活かしてブービートラップを仕掛ける。元短距離ランナー。

CHARACTER FILE
15 FOUR HORSEMEN

・フォー・ホースメン



密室での暗殺を得意とする部隊。SASやGSG9などに所属していた元エリートで構成されている。

CHARACTER FILE
17 NIGHT FRIGHT

・ナイト・フライト



伝説のゲリラ部隊「ウイスパーズ」の生き残り。中国製のほぼ無音の銃で攻撃してくる。